
公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団

第38回助成研究発表会のご案内

公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団は1988年の設立以来、製塩技術開発の促進あるいは塩の生理作用に関する研究など、塩に関する総合的な研究の助成を行うとともに、助成研究発表会を1989年より毎年度開催し、これらの研究助成の成果を広く社会に公表してまいりました。

本年度は第38回助成研究発表会を下記のとおり開催し、2025年度の研究助成の成果等 62件の発表が行われます。皆様のご参加お待ちしております。

1. 日時： 2026年 7月 28日 (火)

受付： 8：45～

発表会： 9：15～17：30

2. 場所： 都市センターホテル

東京都千代田区平河町 2-4-1 Tel: 03-3265-8211

総合受付： 6階

発表会場： 6階 第1会場：601

第2会場：606

7階 第3会場：706

参加登録は下記 Googleフォームからフォーム

<https://forms.gle/FE4oFQxUa3NxAHBb9>



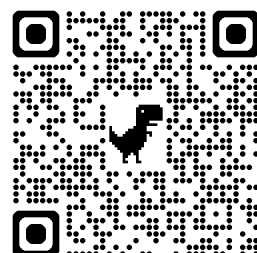
会場へのご案内



最寄駅と所要時間

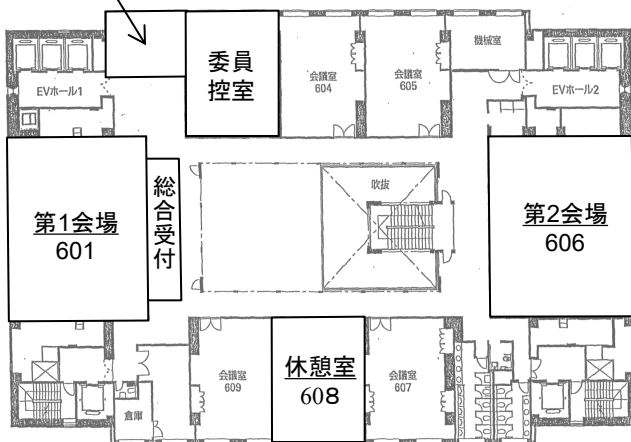
- 東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」9b番出口より徒歩3分
- 東京メトロ有楽町線「麹町駅」半蔵門方面1番出口より徒歩4分
- 東京メトロ丸の内線・銀座線「赤坂見附駅」D出口より徒歩8分

都市センターホテルWebサイト
アクセス QRコードRコード →

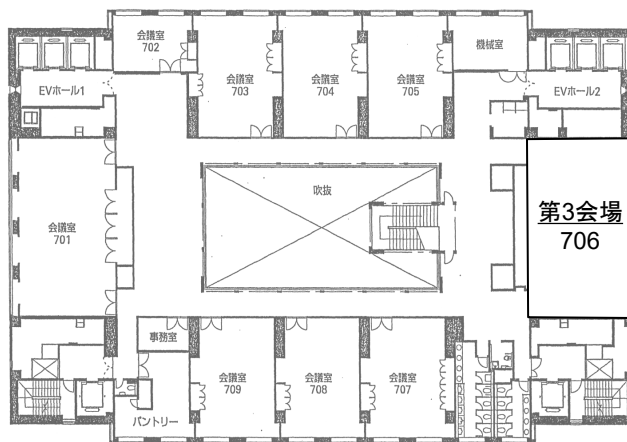


PC・データ
受付

会場6階配置図



会場7階配置図



■ご来場のお客様は6階総合受付にて参加登録をお願いします。

第38回助成研究発表会プログラム

2026年7月28日 都市センターホテル

第1会場 6階-601		第2会場 6階-606		第3会場 7階-706				
8:45						8:45		
8:45 受付・開場								
9:00						9:00		
9:15								
9:30	理工学	1 松本 真和 日本大学			医学	40 井上 聡 慶應義塾大学		
		2 箕田 弘喜 東京農工大学				41 田中 大介 東京科学大学		
10:00		3 鍵 裕之 東京大学				42 ハイジツヒ ベアテ 順天堂大学		
10:30	理工学	4 有賀 智子 産業技術総合研究所	食品科学	25 溝井 順哉 東京大学			43 竹澤 健太郎 大阪大学	
		5 児玉谷 仁 鹿児島大学		26 長田 和実 日本大学				
10:45		6 山田 和彦 日本大学		27 清水 宗茂 東海大学				
11:00								
11:30	理工学	7 上坂 怜生 東京大学 大気海洋研究所	食品科学	28 前橋 健二 東京農業大学	医学	44 木内 謙一郎 慶應義塾大学		
		8 河合(野間) 繁子 千葉大学		29 松川 真吾 東京海洋大学				45 野崎 千尋 早稲田大学
11:30		9 中村 将志 千葉大学		30 斎藤 嘉人 新潟大学				46 南 聡 大阪大学
12:00						47 山本 毅士 大阪大学		
						48 平田 祐介 東北大学		
12:00	11:55~13:10 昼休憩					12:00		
13:00						13:00		
13:30	理工学	理工学プロジェクト研究概要説明		食品科学プロジェクト研究概要説明		医学	49 坂本 京花 愛知学院大学	
		10 矢吹 彰広 広島大学	食品科学	31 田村 倫子 東京農業大学			50 清島 亮 藤田医科大学	
14:00		11 松尾 卓摩 明治大学		32 山本 雅也 東北大学			51 細山 徹 国立長寿医療 研究センター	
	12 長 秀雄 青山学院大学	33 筒浦 さとみ 新潟大学				52 出山 諭司 金沢大学		
14:30		13 伏見 公志 北海道大学						
		14 菅原 優 島根大学	食品科学	34 武政 誠 東京電機大学	医学	53 内田 泰介 宮崎大学		
15:00	理工学	15 松岡 悟志 長崎大学		35 成川 真隆 京都女子大学				54 篠原 啓介 九州大学
		16 久本 秀明 大阪公立大学		36 前田 竜郎 帝京平成大学				55 森本 雄祐 九州工業大学
15:30		17 後藤 雅宏 九州大学	37 大崎 雄介 東北大学			56 岡田 光貴 京都橋大学		
		18 木村勇気 北海道大学	食品科学	38 乾 賢 北海道大学	医学	57 檜山 武史 鳥取大学		
16:00	19 大下 慶次郎 北海道教育大学	39 森山 達哉 近畿大学				58 藤田 幸 島根大学		
16:15	20 高橋 修 広島大学					59 岩崎 有作 京都府立大学		
16:30						16:30		
	理工学	21 福田 伸子 岡山大学			医学	60 望月 和樹 山梨大学		
17:00		22 佐伯 大輔 信州大学						61 井上 浩一 奈良県立医科大学
		23 澤田 真一 量子科学技術 研究開発機構						62 河尾 直之 近畿大学
17:30	24 高野 敦志 名古屋大学						17:30	
18:00	- 17:30 終了予定 -					18:00		

注1) 助成研究者氏名の前の数字は発表番号を示します。 注2) 所属は2026年3月現在

第一会場(理工学)

助成番号	発表時間	表 題	氏 名	所 属	役 職
2517	9:15 ~ 9:30	海水溶存Ca ²⁺ ・Mg ²⁺ を活用したCO ₂ の回収・有効利用技術の構築-製塩工程液へのCO ₂ /O ₂ /N ₂ ファインバブルの導入による炭酸塩の反応晶析-	松本 真和	日本大学 大学院生産工学研究科	教授
2518	9:30 ~ 9:45	NaCl液中成長のナノメートルスケールでの分類と不純物の影響の研究	箕田 弘喜	東京農工大学 工学部	教授
2504	9:45 ~ 10:00	近赤外・赤外吸収分光法による天然水中の塩濃度と炭酸種のリアルタイム迅速測定法の開発とその地球化学的応用	鍵 裕之	東京大学 大学院理学系研究科	教授
10:00 ~ 10:10					
2501	10:10 ~ 10:25	海水からの炭酸カルシウム合成過程における重元素安定同位体比分別の解析-バイオミネラリゼーション制御機構の解明に向けて-	有賀 智子	産業技術総合研究所 計量標準総合センター	主任研究員
2507	10:25 ~ 10:40	海水中の硝酸イオン・亜硝酸イオンの簡易で高感度な測定システムの開発	児玉谷 仁	鹿児島大学 大学院理工学研究科(理学系)	准教授
2519	10:40 ~ 10:55	生体内のナトリウムを可視化する超高感度化磁気共鳴画像化(MRI)法の開発	山田 和彦	日本大学 理工学部物質応用化学科	教授
10:55 ~ 11:05					
2502	11:05 ~ 11:20	海鳥の糞が海洋成分に与える影響の評価	上坂 怜生	東京大学 大気海洋研究所	特任研究員
2505	11:20 ~ 11:35	海水中のヒ素を検出する新規微生物センサーの開発	河合(野間) 繁子	千葉大学大学院 工学研究院 共生応用化学コース	助教
2513	11:35 ~ 11:50	有機カチオンによる防食メカニズムの解明	中村 将志	千葉大学 大学院工学研究院総合工学講座	教授
11:50 ~ 13:10					
13:10 ~ 13:15 理工学プロジェクト研究概要説明:海水および高濃度塩化物水溶液環境での腐食現象の評価と防食技術の向上 長プロジェクトリーダー					
25A1	13:15 ~ 13:30	海水環境における自己修復性防食コーティングの開発	矢吹 彰広	広島大学 大学院先進理工系科学研究科	教授
25A2	13:30 ~ 13:45	ドローンとデジタル画像相関法を用いたコーティング下腐食モニタリング技術の開発	松尾 卓摩	明治大学 理工学部機械工学科	教授
25A3	13:45 ~ 14:00	アコースティック・エミッション法と電気化学計測法を併用した腐食現象の評価と現場装置への適用化について	長 秀雄	青山学院大学 理工学部機械創造工学科	教授
25A4	14:00 ~ 14:15	高濃度塩化物水溶液環境における溶存酸素を酸化剤とする腐食反応速度の定量と数理モデル化	伏見 公志	北海道大学 大学院工学研究院	准教授
25A5	14:15 ~ 14:30	高濃度塩化物水溶液環境におけるステンレス鋼のすき間腐食挙動の解析と腐食抑制手法の検討	菅原 優	島根大学 材料エネルギー学部	教授
14:30 ~ 14:40					
2516	14:40 ~ 14:55	体内埋め込み型塩分濃度センサー創出に向けた基礎検討	松岡 悟志	長崎大学 総合生産科学研究科	准教授
2514	14:55 ~ 15:10	海水中環境汚染物質PFOSの簡便・超高感度・高速オンサイト検出用フルオラスナノ油滴センサー開発	久本 秀明	大阪公立大学 大学院工学研究科	教授
2508	15:10 ~ 15:25	深共晶溶媒によって実現可能な環境調和型リチウム回収プロセス	後藤 雅宏	九州大学 工学研究院	教授
15:25 ~ 15:35					
2506	15:35 ~ 15:50	塩の結晶核生成プロセスにおける表面自由エネルギーと付着確率の実験的検証	木村 勇氣	北海道大学 低温科学研究所	教授
2503	15:50 ~ 16:05	海水中の食塩ナノ結晶の構造分析と不純物取り込みによる構造への影響評価	大下 慶次郎	北海道教育大学 教育学部 札幌校 理数教育専攻	准教授
2512	16:05 ~ 16:20	塩水溶液の構造:軟X線分光法による実験と計算	高橋 修	広島大学 放射光科学研究所	特任教授
16:20 ~ 16:30					
2515	16:30 ~ 16:45	天然由来セルロースキトサン複合体骨格を持つ海水濃縮用逆浸透膜の開発	福田 伸子	岡山大学 学術研究院環境生命自然科学学域	教授
2509	16:45 ~ 17:00	製膜後開孔法による電気透析用ポリアミド膜の開発	佐伯 大輔	信州大学 工学部物質化学科	准教授
2510	17:00 ~ 17:10	放射線グラフト重合によるサブミクロン厚荷電層を有する発電用浸透膜の開発	澤田 真一	量子科学技術研究開発機構 高崎量子技術基盤研究所	上席研究員
2511	17:15 ~ 17:30	モザイク荷電膜を利用した高性能脱塩分離膜の調製	高野 敦志	名古屋大学 未来社会創造機構 量子化学イノベーション研究所	特任教授

第二会場(食品科学)

助成番号	発表時間	表 題	氏 名	所 属	役職
2549	10:00 ~ 10:15	塩ストレス栽培下のトマト未熟果実での光合成促進の意義と機構の解明	溝井 順哉	東京大学 大学院農学生命科学研究科応用生命化学専攻	准教授
2544	10:15 ~ 10:30	Carvacrol の適塩活性の受容メカニズムの解明: Anosmiaモデルマウス及びTRPA1ノックアウトマウスに対するオレガノおよびカルバクロールの適塩作用に関する研究	長田 和実	日本大学 生物資源科学部	教授
2546	10:30 ~ 10:45	高濃度の食塩水摂取がマイクロプラスチックの体外排泄に及ぼす影響	清水 宗茂	東海大学 海洋学部水産学科	教授
10:45 ~ 10:45					
2547	11:00 ~ 11:15	食塩で活性化されるグルタミン酸生成酵素	前橋 健二	東京農業大学 応用生物科学部醸造科学科	教授
2548	11:15 ~ 11:30	ナノ油膜を利用した塩分濃厚溶液のカプセル化と塩分摂取量低減の検討	松川 真吾	東京海洋大学 海洋生命科学部	教授
2545	11:30 ~ 11:45	最適凝固剤量の即時フィードバックを実現する豆乳凝固過程のリアルタイムモニタリング	斎藤 嘉人	新潟大学 自然科学系農学部	助教
11:45 ~ 11:45					
13:10 ~ 13:15 食品科学プロジェクト研究概要説明: 食資源開発と環境負荷低減に資する塩の利活用					
25D1	13:15 ~ 13:30	塩ストレス付与が青臭みの少ない大豆品種に与える効果 -収穫後の生豆の機能性向上を目指して-	田村 倫子	東京農業大学 応用生物科学部 食品安全健康学科	准教授
25D2	13:30 ~ 13:45	新たな食資源開発に貢献する塩水処理によるアブラナ科植物自家不和合性の打破機構の解明	山本 雅也	東北大学 農学研究科	准教授
25D6	13:45 ~ 14:00	減塩食品及び食塩を用いた調理・加工におけるオゾン含有ウルトラファインバブル水の有効性の検討	筒浦 さとみ	新潟大学 農学部	准教授
14:00 ~ 14:15					
25D3	14:15 ~ 14:30	フード3Dプリンタによる健康とおいしさを両立した食品設計及び製造法開発	武政 誠	東京電機大学 理工学部・生命科学系	教授
25D4	14:30 ~ 14:45	新規な減塩素材開発に向けた分子基盤~クロライドイオンCl-を介した塩味受容機構の解明~	成川 真隆	京都女子大学 家政学部 食物栄養学科	准教授
25D5	14:45 ~ 15:00	ノンターゲットオミクスによる塩類マリネが肉類加熱香気に及ぼすおのいの網羅的解析および新規化合物探索	前田 竜郎	帝京平成大学 健康メディカル学部健康栄養学科	教授
15:00 ~ 15:15					
2543	15:15 ~ 15:30	妊娠期・哺乳期の母体栄養状態が食塩感受性高血圧による腎障害を抑制する機構の解明	大崎 雄介	東北大学 大学院農学研究科	准教授
2542	15:30 ~ 15:45	塩味嗜好における性差の解明	乾 賢	北海道大学 大学院歯学研究院口腔生理学教室	准教授
2550	15:45 ~ 16:00	食塩が皮膚を介して食物アレルギーの感作を抑制する可能性の検証	森山 達哉	近畿大学 農学部応用生命化学科	教授

第三会場(医学)

助成 番号	発表時間	表 題	氏 名	所 属	役 職
2521	9:30 ~ 9:45	塩分摂取を活用したCAR-T細胞免疫療法の治療効果の改善	井上 聡	慶應義塾大学 医学部先端医科学研究所がん免疫研究部門	専任講師
2531	9:45 ~ 10:00	塩による快感を生み出す脳の神経細胞の同定	田中 大介	東京科学大学 医歯学総合研究科	講師
2534	10:00 ~ 10:15	認知症に対する塩類バランス正常化の有用性	Heissig Beate	順天堂大学 大学院医学研究科	准教授
2530	10:15 ~ 10:30	脳交感神経中枢に着目した食塩誘発性夜間多尿の新規治療法開発	竹澤 健太郎	大阪大学 大学院医学系研究科泌尿器科	助教
	10:30 ~ 10:40				
2526	10:40 ~ 10:55	塩分摂取のタイミングと概日血圧リズム	木内 謙一郎	慶應義塾大学 医学部腎臓内分泌代謝内科	准教授
2533	10:55 ~ 11:10	塩分が高脂肪食誘発全身性炎症に与える影響	野崎 千尋	早稲田大学 理工学術院国際理工学センター	准教授
2440	11:10 ~ 11:25	リソソーム損傷応答に着目した、塩分過剰摂取による慢性腎臓病進展を抑制する新規治療法開発	南 聡	大阪大学 大学院医学系研究科生化学・分子生物学講座 遺伝学	特任助教
2541	11:25 ~ 11:40	慢性腎臓病対策としてのCPP抑制とメガリン-リソソーム機能調節:マグネシウムの可能性	山本 毅士	大阪大学 大学院医学系研究科腎臓内科学	特任助教
2536	11:40 ~ 11:55	塩分摂取による高血圧性腎障害の病態解析および食品中化合物の予防・治療への応用	平田 祐介	東北大学 大学院薬学研究科	助教
	11:55 ~ 13:10				
2527	13:10 ~ 13:25	にがり含有ミネラルの細胞内動態解明を指向したレンズフリーバイオイメージング法の開発	坂本 京花 (神野伸一郎)	愛知学院大学 薬学部生体有機化学講座	助教 (教授)
2529	13:25 ~ 13:40	塩分摂取による腸管内浸透圧上昇が炎症性腸疾患の腸管粘膜に与える影響について	清島 亮	藤田医科大学 医学部総合消化器外科	客員講師
2538	13:40 ~ 13:55	マグネシウムトランスポーターSLC41A3の骨格筋における役割とサルコペニアとの関連性の解明	細山 徹	国立長寿医療研究センター 運動器疾患研究部	副部長
2532	13:55 ~ 14:10	マグネシウムの抗うつ作用と抗うつ薬効果増強作用を担う神経機構の解明	出山 諭司	金沢大学 医薬保健研究域薬学系	准教授
	14:10 ~ 14:15				
2523	14:20 ~ 14:35	二次性高血圧症に対する減塩調味料の降圧効果の検証-多施設共同クロスオーバー比較試験-	内田 泰介	宮崎大学 医学部内科学講座血液・糖尿病・内分泌内科学分野	医員
2528	14:35 ~ 14:50	食塩感受性高血圧・心不全における腎神経求心路-脳内バソプレシン-交感神経出力の連関	篠原 啓介	九州大学 大学院医学研究院 循環器内科学	助教
2540	14:50 ~ 15:05	過剰塩環境のモデル培養細胞系の開発	森本 雄祐	九州工業大学 大学院情報工学研究院物理情報工学研究系	教授
2524	15:05 ~ 15:20	塩分摂取が潰瘍性大腸炎の病態に与える影響の基礎的検討	岡田 光貴	京都橋大学 健康科学部臨床検査学科	准教授
	15:20 ~ 15:30				
2535	15:30 ~ 15:45	唾液調節の脳神経回路における塩類の働き	檜山 武史	鳥取大学 医学部医学科	教授
2537	15:45 ~ 16:00	塩分摂取量の変化が情動行動に及ぼす影響とそのメカニズムの解明	藤田 幸	鳥根大学 医学部 医学科 発生生物学	教授
2522	16:00 ~ 16:15	食塩による内受容感覚を介した満腹感増強作用の解析	岩崎 有作	京都府立大学 大学院生命環境科学研究科	教授
	16:15 ~ 16:25				
2539	16:25 ~ 16:40	高齢疾患モデルBrd4ヘテロ欠損マウスにおける塩分制限は、サルコペニア・フレイル症状を悪化させるか？	望月 和樹	山梨大学 生命環境学部地域食物科学科	教授
2520	16:40 ~ 16:55	食塩がマイオカイン産生に与える影響	井上 浩一	奈良県立医科大学 医学部医学科	教授
2525	16:55 ~ 17:10	低ナトリウム血症が骨修復・再生におよぼす影響に関する研究	河尾 直之	近畿大学 医学部	講師

参加登録は下記 Googleフォームから

<https://forms.gle/FE4oFQxUa3NxAHBb9>

QRコードからも登録できます



公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団

第38回助成研究発表会のご案内

〒105-0003 東京都港区西新橋3-5-2 西新橋第一法規ビル

Tel: 03-3497-5711 Fax: 03-3497-5712

URL: <https://www.saltscience.or.jp>